



消防学校 ニュース



令和4年10月号

初任科 実科査閲

～訓練の成果を披露する晴れの舞台～

初任科第93期95人（うち女性11人）は、消防職員として必要な知識・技術を習得するため、寮生活を送りながら約6か月間（令和4年4月6日～令和4年9月28日）の厳しい教育訓練を受けてきました。

その集大成として、訓練成果を確認・披露するため、9月13日（火）午後1時から各種訓練の査閲を実施しました。初任科学生は、各消防本部消防長に対し、訓練成果として、これまでに身につけた技術、体力、気迫等のすべて余すことなく全力で披露しました。また、今回は新型コロナウイルス感染対策の上で学生の家族にも参観していただいたため、家族の皆様も頼もしい姿に満足していたと思います。

[内容]

- | | | |
|---|----------|-------|
| 1 | 開会 | 13:00 |
| 2 | 訓練 | 13:20 |
| | 訓練礼式 | |
| | 機器取扱訓練 | |
| | 消防活動訓練 | |
| | 消防活動応用訓練 | |
| | 救助訓練 | |
| | 一斉放水 | |
| 3 | 閉会 | 16:00 |



各消防本部（局）消防長・学生の家族



入場



学校長訓示



加藤静岡県危機
管理監代理挨拶



秋山静岡県消防
長会会長挨拶

訓練
礼式





機器取扱訓練



消防活動訓練



消防活動応用訓練



救助訓練



一斉放水



退場

(担当教官コメント)

初任科（第93期）実科査閲は、初任教育の効果確認とともに、学生主体の訓練企画を通して消防の魅力、必要性を伝える手法を学び、訓練披露することにより消防人としての意識の高揚を図ることを目的に実施しました。訓練企画にあたっては訓練計画書の作成要領を教授し、学生間で話し合い、各訓練担当教官と調整を図りながら、学生達が訓練構成、アナウンスを考えました。

査閲本番に向けた訓練当初は、技術にぎこちなさを感じていましたが、学生達は消防長や家族に成長した姿を見せたいという思いで教官にアドバイスを求め、一所懸命訓練に励み、短期間でかなり上達していきました。

迎えた本番当日、学生達は気合い十分で訓練に臨み、今まで培ってきた技術を存分に発揮して、見ている人を魅了しました。観客席から湧き起こる歓声や拍手に、学生達の努力が報われたと嬉しさを感じました。訓練を締めくくの一斉放水では、真上に放水した瞬間、綺麗な虹が架かり、学生達の明るい未来を象徴するかのように幻想的な光景が広がりました。

私は最後の講評で、「教官達の君たちに対する愛情と熱意が報われた一日になった。素晴らしい訓練を見せてくれてありがとう。」と締めくくりました。

多くの人に見られる中で、緊張感に押し潰されることなく自分の実力を発揮できたことは、今後の災害活動にも生きてくると思います。

見事に成長した姿を見せ、自信に満ちあふれた学生の顔は今でも忘れません。

教務課主査 埴淵 茂樹（浜松市消防局から派遣）

初任科修了式

～消防学校からの旅立ち～

新型コロナウイルス感染拡大及び台風15号による消防学校（清水区）の断水により、一部休校を余儀なくされ、波乱に巻き込まれながらも教育訓練を進めてきた初任科第93期の学生も、いよいよ修了を迎え、令和4年9月28日に修了式を行いました。いろいろな感情がこみ上げ、式典中に涙を流す学生もいました。所属に戻り、消防学校で培った知識、技術を存分に発揮して活躍してくれることを期待します。

修了式次第

開式の辞

国旗に対する敬礼

国歌奏楽

消防殉職者に対する黙禱

修了証書授与

表彰

学校長式辞

静岡県危機管理監祝辞

静岡県消防長会会長祝辞

修了生代表答辞

閉式の辞



高倉学校長から修了生代表へ修了証書授与